

Oracle Content and Experience

現在のコンシューマは、いつでもどこでも、コンテンツを多くのデバイスで受信し、さまざまなチャネルで共有しています。企業は、サイロ化されたすべての場所で情報とコンテンツを管理し、コンシューマに一貫した体験を提供しようと苦心しています。Web、モバイル、ソーシャル、電子メールをはじめとするすべての体験でポイント・ソリューションを統合あるいは管理する作業は複雑です。その複雑性によって、市場でシェアを伸ばし、革新を加速するために使用されるべき時間が業務とITの双方から奪われています。

Oracle Content and Experience を使用すれば、異なるすべてのチャネルで、統一され、パーソナライズされた顧客体験を提供できるようになります。Oracle Content and Experience は、コンテンツを管理し整理するためのクラウドベースのソリューションであり、業務ユーザーとITユーザーの両者を強化します。デジタル・コラボレーションを可能にし、情報のサイロ化を低減することで、ビジネスの俊敏性を向上し、リスクを軽減します。

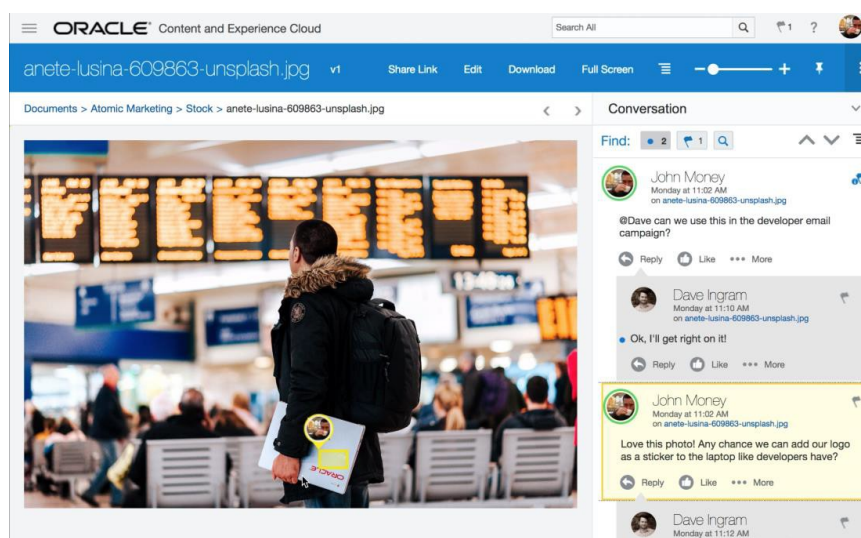
Oracle Content and Experience が提供する業界最高レベルの機能は、以下の領域で差別化されています。

- 使いやすさ
- 相互運用性
- 分析
- コンテンツとマルチチャネル配信
- パーソナライズ

Oracle Content and Experience の機能 使いやすさ

強化されたコラボレーション機能とワークフロー機能

コンテンツのデプロイは共同作業です。Oracle Content and Experience では、アセット全体で自然な会話とタスクの割当てが可能であるほか、アセットのマークアップと注釈が提供されます。



おもな機能

- AI/ML を使用して編集者の仕事を容易にするスマート・コンテンツ・オーサリング
- オラクルのソリューションとサード・パーティ製ソリューションの相互運用性
- A/B テストとマルチバリエーション・テスト、および分析のサポートにより、コンテンツ・エンゲージメントを促進
- 業務ユーザーにとって使いやすく、ITユーザーにとってプロビジョニングが容易な自己公開プラットフォーム
- 閲覧者の属性に基づく AI/ML コンテンツ・ターゲティングとパーソナライズ

ビジネス上のおもなメリット

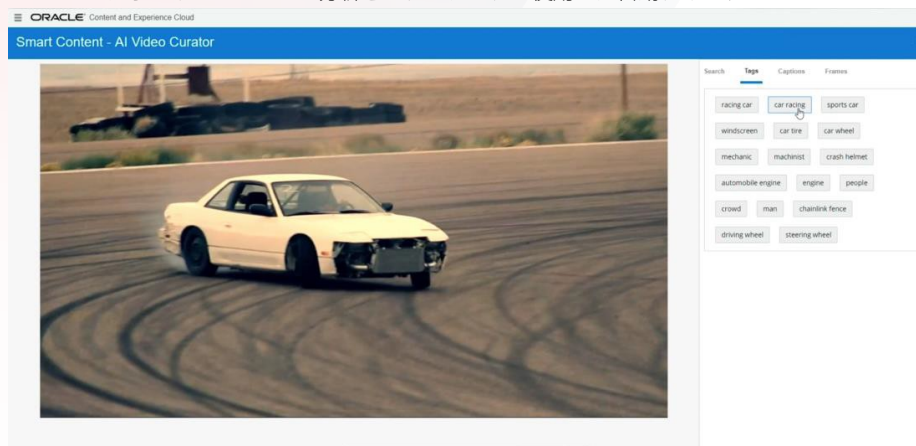
- 単一のコンテンツ・ハブを活用することで、統一された顧客体験を提供し、さまざまなチャネルでコンテンツを公開
- 業務ユーザーが自身でコンテンツを公開できるようにすることで、ITバックログを削減し、ビジネスの速度で活動を開始
- 数千ものサイトすべてでセキュアにコンテンツへのアクセスを提供し、ガバナンスを設定
- AI/ML の助けを借りてコンテンツの分類時間を短縮し、コンテンツの見つけやすさを向上
- 分析を活用してコンテンツの効果を向上し、エンゲージメントを促進

免責事項：本文書は情報提供のみを目的としています。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料に過ぎないものとさせていただきます。本書に記載されている機能の開発、リリース、および時期については、弊社の裁量により決定されます。

スマート・コンテンツ・オーサリング

AI/機械学習を搭載し、編集者の仕事を容易にする機能一式

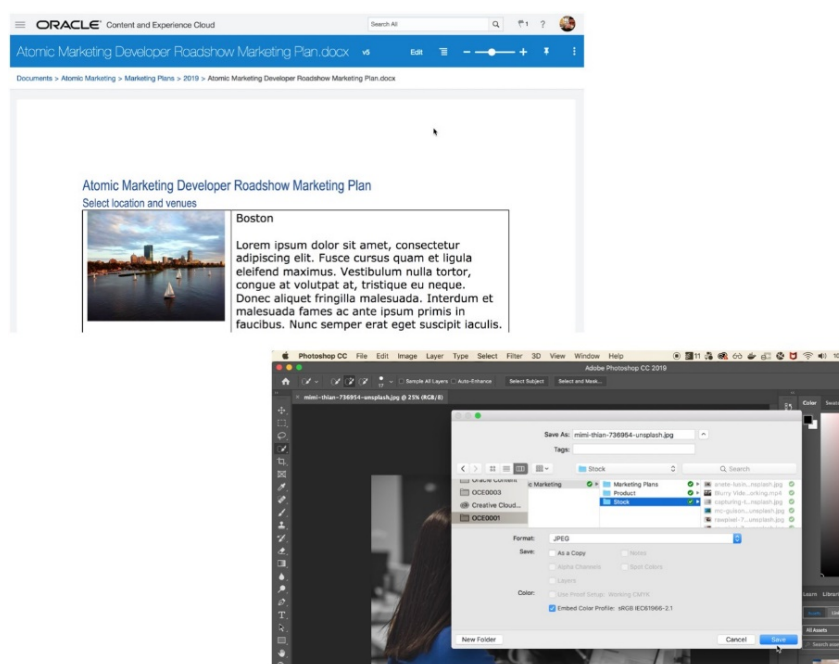
- コンテンツの取り込み中にイメージを自動タギングすることで、取り込まれたコンテンツを即座に検索可能
- テキスト分析から関連イメージを検索
- ビデオのキー・フレーム分析とメタ・データを使用した自動タギング



相互運用性

編集者とマーケティング担当者がすでに利用している
コンテンツ作成ツールと統合

- Office 365：ドラッグ・アンド・ドロップとオンライン編集を実現
- Photoshop：ファイル管理を統合



サード・パーティのサービスとオラクルのソリューションとの統合

直接のOracle統合	コネクタ
<ul style="list-style-type: none">• Oracle Co-browse Cloud Service• Oracle Eloqua Cloud Service• Oracle Policy Automation Cloud Service• Oracle Integration - Process• Oracle Visual Builder Cloud Service	<ul style="list-style-type: none">• WebCenter Content• Googleドライブ• Microsoft OneDrive• Dropbox

分析

組込みのアセット消費分析

サイト、チャンネル、リリース、その他のカテゴリ全体でアセット使用メトリックを追跡

Web 分析システムとの連携

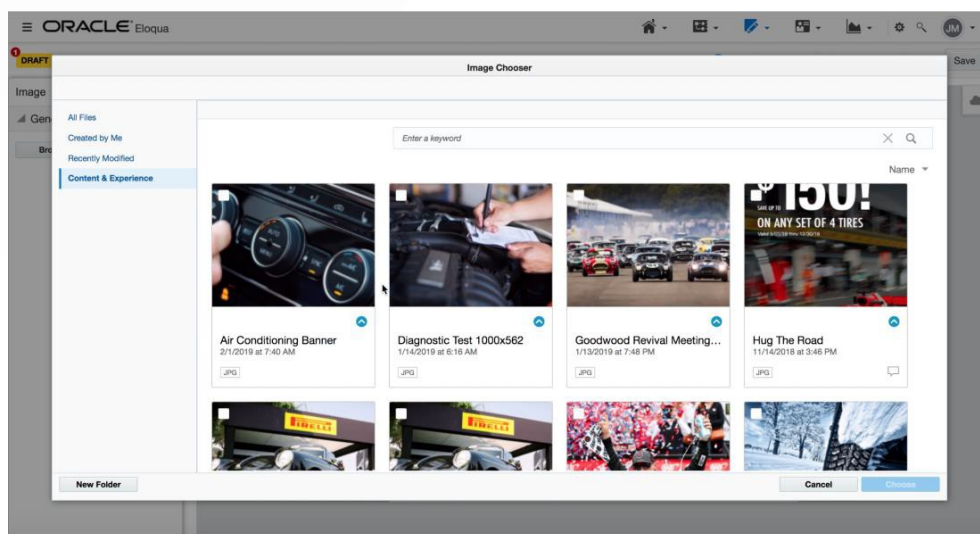
サポートされるJavaScriptスニペット

- Oracle Infinity
- Google Analytics
- Adobe Analytics

コンテンツとマルチチャネル配信

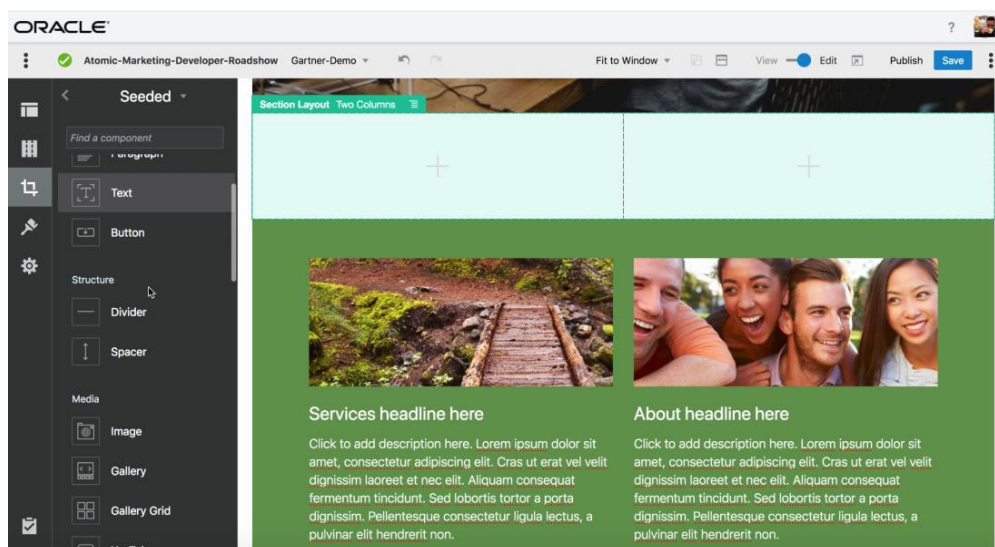
チャンネルへの公開

一元管理されたコンテンツを、特定のチャンネル（Oracle Eloqua を使用して調整された電子メールのマーケティング・キャンペーンなど）に配信



WYSIWYG サイト・デザイナおよびエディタ

テンプレートを利用し、インライン編集を可能にすることで、業務ユーザーが迅速に Web サイトやランディング・ページを作成できる組込みランタイム環境です。

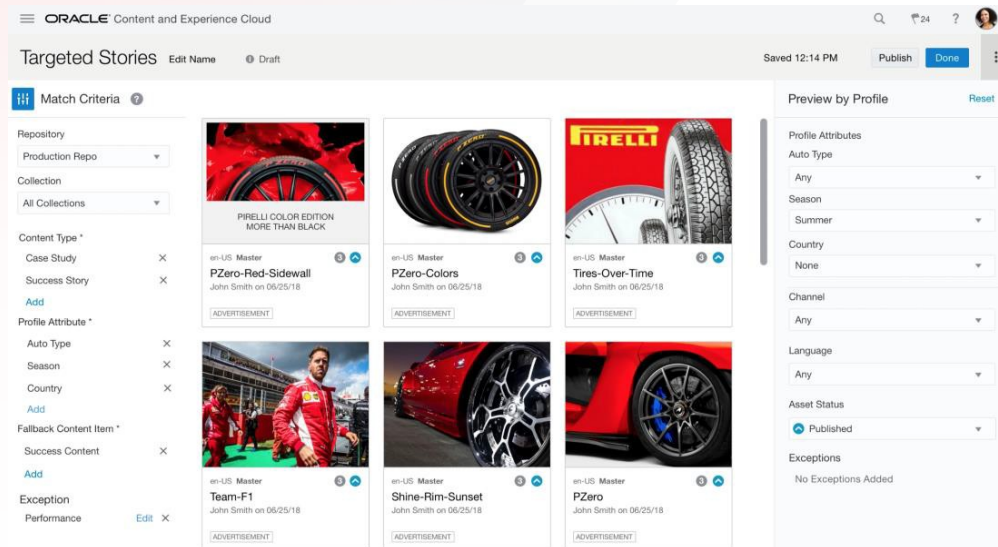


不完全なコンテンツやプライベート・コンテンツが公開されるリスクを冒すことなく、Web サイトをセキュアにプロビジョニングできます。

パーソナライズ

閲覧者の属性に基づく AI/ML コンテンツ・ターゲティング

- ・ ‘コンテンツが少ない’環境に理想的です。数千ものセグメントがあるにもかかわらず、すべてのセグメントに対応できるほどアセットの種類が十分でないため、システムは従来型のセグメントを利用していません。
- ・ AI/機械学習と提供されたパーソナライズ・ルールによるコンテンツの推奨



詳細情報およびお問い合わせ

本クラウドサービスに関する詳しい情報は、oracle.com をご覧ください。

ご購入・ご導入に関するご相談は、Oracle Digital (フリーダイヤル 0120-155-096 / [お問い合わせフォーム](#)) までお問合せいただくか、oracle.com/jp/corporate/branch/ で最寄りの事業所をご確認のうえお問い合わせください。

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を得ることでなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。本デバイスは、連邦通信委員会のルールに基づいた認可を未取得です。認可を受けるまでは、このデバイスの販売またはリースを提案することも、このデバイスを販売またはリースすることはありません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0619